比嘉 秀康 議員

障がい・高齢福祉事業所の地域福祉推進活動について

質 我が村における福祉課題の解決と福祉サービスの充実に向けて、現在、恩納村社会福祉協議会や民間福祉事業所が主体となり、地域福祉推進協議会を立ち上げ、地域のニーズを共有し、事業所間の連携強化、研修会の開催など、地域福祉の推進に大きく貢献していただいておりますが、そのような活動に対して、行政としてはどのような関わりを持っているのか伺う。

答 福祉課長（石川 司）
村内福祉関係事業所を取りまとめ、村の福祉課題を改善していく旗振り役として関わっていくことが福祉行政の役割と認識しています。

質 この協議会では、近年増加傾向にある様々な災害に備え、福祉避難所の機能強化についての検討や、また災害時の要配慮者支援体制の協議など、地域災害においても協議し、極めて重要な役割を担っていただいています。実際に被災した際には、現在の避難所の受入れ体制に人員不足が想定されます。そうなった場合に、都道府県単位で組織されておりますDWAT（災害派遣福祉チーム）への派遣要請も有効になってくると思います。ですが、派遣要請から決定まで時間の猶予がない場合もあります。いざというときに迅速に行動するためにも、事業所か恩納村独自のDWATを結成したいとの思いに対して、当局の見解を伺う。

答 福祉課長（石川 司）
村においても県内外のDWATの活動を参考に、関係機関と協力しながら体制を整えていきたいと思います。

質 具体的政策として検討していただきたいと思います。令和6年度から活動していますその協議会ですが、こうした活動には予算が必要になってきます。結成当初は、自己資金によって運営されていました。研修費、資料作成費、講師の依頼費等、今後継続していくには、活動資金が非常に厳しくなっている状況です。本村の福祉の充実のためにも、活動資金の支援ができないでしょうか。見解を伺う。

答 福祉課長（石川 司）
現在は、沖縄県社会福祉協議会からの2百万円程度の助成金を活用し、アドバイザーを年間契約していただき、令和8年度までは活動資金は確保されている状況であります。令和9年度以降は活動費が確保できない状況から、令和9年度以降、内容、時期等を精査して、関係団体と協議、調整して、できる限り予算の確保に努めていきたいと思います。

▲恩納村福祉推進協働実践事業合同研修会の様子

山田小学校内の学童施設の利便性について

質 小学校の裏にあり、かつては多目的特別教室が利用していました2階をリフォームしていただき、活用している状況であります。ですが、その教室にはトイレがなく、屋外トイレを使用せざるを得ない状況にあります。外にあるため、低学年はトイレに行くのに、階段下の外灯が暗くて怖いから躊躇したり、雨の日はひさしがないため雨にぬれるので行きたくない。雨にぬれていると階段が滑るので危ない。職員の目が届かないので防犯面の不安などの、利便性についての多くの意見が保護者や事業者から寄せられております。これらの状況を、行政として何らかの改善策を検討できないか伺う。

答 福祉課長（石川 司）
雨降り等の低学年の児童の使用に支障が出ていると、学童クラブ連絡協議会で報告を受けております。屋外トイレへの移動が安全に行われるよう学童クラブ職員と協議を行っているところで、次年度あたりに雨よけ等の改修を行っていきたいと思います。

大城 節子 議員

ゆうなホールについて

質 ゆうなホールの舞台に出演者が上がる際の階段に手すりがなく、上るときに転倒、骨折でもしたら大変なことになります。転ばぬ先の杖、早急な対応が必要と思いますが、当局の対応について伺う。

答 商工観光課長（城野 正和）
ゆうなホールの舞台への上り下りは、今後予想される高齢者や身障者とかの上り下り、大変な状況になると認識しています。指定管理者、観光協会と連携を図って早めの対応を検討します。

バス停の整備について

質 村内のバス停は、屋根とベンチが設置されている箇所と標識（案内板）だけの箇所がありますが、管轄はどこか伺う。

答 総務課長（宮平 覚）
バス停の標識は、路線バス事業者、バス停上屋は、北部国道事務所、あとは村のほうで管轄しています。

質 村内のバス停は名護行き那覇行き計76か所ありました。最近はよくバス停を利用する観光客を見かけるのですが、屋根がなくベンチがないバス停では、暑い日差しや雨の中は申し訳ないような気がします。観光リゾートと言われる恩納村にふさわしくない気がします。今後、宿泊税も導入され観光客に対しておもてなしをする意味でも、バス停をきれいに整備することにより、地域の免許返納者や高齢者も気軽に利用できると思いますが。

答 総務課長（宮平 覚）
宿泊税も財源に含めながら、観光客にも配慮したバス停整備ができればと考えています。

提 観光客だけじゃなくて、お年寄り、免許を返納した人たちが気持ちよくバス、公共機関を利用しやすいような環境をつくっていただきたいと思います。

クリーン指導員について

質 クリーン指導員が設置されてから20年余になると思います。今ではゴミの分別については保育園、幼稚園の時から教えますので、ゴミの分別も確実になり、達成されたと思いますが、これからも指導員として設置されるのか伺う。

答 村民課長（山城 達也）
運搬車両が通行できない狭小の場所等の区域については、ゴミステーションを設け、そこから収集運搬をしており指導員の任務が必要な行政区については、引き続きクリーン指導員を配置します。

施政方針から文化の振興について

質 ナビー屋敷跡地の整備について観光的資源、教育的資源として理解しているが、整備について具体的な計画はありません。恩納区や関係機関と検討協議していければと答弁されたのですが、その後どうなったのか伺う。

答 社会教育課長（仲村 泰弘）
社会教育課としての整備は、現在も具体的な計画はありません。将来的な整備については文化行政を担当する課として関係課と連携していきたいと考えています。

質 ナビー屋敷跡地は徒歩で何分もかかりません。皆さんはご覧になったことはありますか？ご覧になって、整備について具体的な計画はありませんと言えるのでしょうか？お気持ちをお聞かせください。

答 恩納村長（長浜 善巳）
将来的な整備に向けて恩納区との意向を確認した上での整備が必要じゃないかと思っています。今後も、地元の同意、協力なしでは、この整備を進める事はできませんので、恩納区への協力を求めていきたいと思います。

質 当局に提案ですが、恩納区所有の土地とナビー屋敷跡そこの一画を公園整備することはできないか。公園化することで区民の憩いの場所となり、マッコーヤの石碑も日の目を見ることができ、ナビーも、その日を一日千秋の思いで待っていると思うのですが。

答 企画課長（喜久山 隆）
ナビー屋敷跡地は個人有地となっており、その後ろに字が所有している公園があり区長さんに確認したところ、公園以外に使用するつもりはないと伺っており今後一体的に整備できるか区の意見もお聞きしながら計画していきたいと考えています。